

多様性と柔軟性、思考力と表現力

校長 高橋 秀吉

ここ最近、3年生の生徒と進路関係の面接をする機会があります。その中で感心することがあります。大人が思っている以上に、生徒たちは将来や自分の人生について考えているようです。

ある生徒は得意なスポーツに高校でも取り組み、そのスポーツでプロを目指したいと考えています。また、ある生徒は好きな美術に打ち込みたいので高校から大学まで美術に集中できる環境の進路先を考えています。その他にも国際的な場面で働きたいので海外留学プログラムのある高校を選んだり、銀行で働きたいので銀行への就職率が高い大学の附属高校を選んだりしています。

それぞれの興味・関心や個性に応じて多様で柔軟な進路選択をしているように感じます。また面接を通して、自分の考えをまとめ相手に伝わるように話そうとする様子から、思考力と表現力が伸びてきていると実感します。

ところで、みなさんは国際バカロレア (International Baccalaureate) という国際的な教育プログラムについて知っていますか。文部科学省は、グローバル人材育成の観点から、日本における国際バカロレア (通称: IB) の普及・拡大を推進しています。

IBの理念は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりを富んだ若者の育成を目的としています。

また、IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

この理念は、これからの問題解決や人々の協働のために有効であると考えます。私も以前、ニューヨーク国連国際学校の日本語教師としてこのIBに基づく教育を実践していましたので、この考え方に大きく影響されています。

ともすると「人と同じ」ことを良しとしたり、自分の考えを変えられなかったりする私たちは、もう少し「多様性」「柔軟性」「思考力」「表現力」について考えてみる必要があるかもしれません。そして、さまざまな体験や知識を生かして、自分で考え、自分の取り組むべきテーマに出会い、この世でたった一人の“自分”というものを生かしていくことができたなら、素敵なことだと思います。

来年もみなさまにとって良い年でありますように！



◆ インフルエンザが流行しています！ ◆

このところ、各学年でインフルエンザと診断される生徒が増えてきました。今年はワクチンの不足等もあり、不安を抱えている人も多いかと思います。特に3年生は受験をひかえ体調管理が重要です。体調がすぐれない時には無理をせず、早めの休養をとりましょう。冬休みは生活リズムが崩れやすい時期です。自分の健康は自分で守るように心がけてください。

★体調管理の要素 → 「栄養」と「休息」

- ◎ポイントは
- ①規則正しい生活（時間を守る）
 - ②バランスのとれた食事と快適な睡眠（野菜と熟睡）
 - ③手洗い・うがい・身体を冷やさない（ウイルス退治）

2年生の東京遠足、無事終了！

12月の冷氣の中でしたが、今年も天候に恵まれ12月15日（金）に2年生の東京遠足が行われました。3年生の修学旅行につながる貴重な体験となるように、班ごとに見学ルートを決めたり、交通手段を調べたりしながら、生徒たちは行動しました。

このような班での活動や実際の行動、体験を通して社会性や問題解決能力を身に付けていきます。今回も今後につながる東京遠足となりました。ご家庭でのご支援、ご協力ありがとうございました。



街頭募金へのご協力、感謝申し上げます

12月7日（水）・8日（木）、福祉委員会主催の赤い羽根募金活動をグリーンラインの日吉本町駅前で行いました。今年も多くの地域の方や保護者の皆さま、卒業生の方にご協力いただきました。ありがとうございます。

この活動も日吉台中の伝統となってきました。生徒たちは皆さまに励まされ、今年も生徒たちにとって実り多い活動となりました。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

募金総額：37,843円

